


県道改良にも生き残った大イチョウから鶴林寺までの遍路道は、中腹までみかん畑が続いている。竹林を通り過ぎると水が湧き出ている『水呑大師』に出る。小さなスギの造林地を通り、車道を横切ると眼下に那賀川の流れが見えてくる。石畳のなだらかな遍路道を進むと、スギ林の中に建つ二十番札所『鶴林寺』に着く。境内にある精巧な造りの三重塔は、徳島県の有形文化財に指定されている。鶴林寺の横道から急こう配のスギ林を慎重に下ると再びみかん畑になり、のどかな雰囲気の大井集落へ着く。ゴール付近の『大井休憩所』では、旅の疲れを癒すことができる。

距離 5.4 km	所要時間 3 時間
体力レベル 山道の登降に対応できる体力が必要。適切なペース配分で歩こう。	技術レベル 急な登降があり、坂道を上り下りできる技術が必要。
スタート地点までのアクセス 『道の駅ひなの里かつらら』に集合し、スタート地点へ。 エスケープルート有  (MAP参照)	最寄り駅・バス停 ◎START地点 鉄道 — バス 徳島バス『生名』からすぐ ◎GOAL地点 鉄道 — バス —



鶴林寺への道中で見える那賀川



分岐を右に進み、山道を進む



ガードレール沿いに進む



標識に従い、分岐を右へ



境内を奥に進み、下山する



鶴林寺までの遍路道はみかん畑に囲まれている。鶴林寺の横から杉林を下ると、のどかなたまたまの大井集落へぬける。

生名～水呑大師～鶴林寺～大井休憩所～大井

四国のみち



首領

四国の国

ウォーキングガイド

歩くときの準備について

- ・体力に合うコースを選び、行き帰りの交通手段も調べて余裕のある日程を組もう。
- ・体力や山登りの技術に自信がない方は、一部分のみを選んで歩く方法もある。
- ・天気予報に注意し、悪天候が予想される場合は無理をせず予定を変更しよう。
- ・気温に合った防寒着や、急な天候の変化に備える雨具を忘れずに。

野山を歩くときのマナー

- ・空きカンやゴミは投げ捨てたりせず、ゴミ袋に入れて持ち帰ろう。
- ・山火事の原因となるタバコの投げ捨てや焚き火は絶対にやめよう。
- ・果樹園や農園の農作物、野生動植物を傷つけたり取ったりするのはやめよう。

危険な動植物にご注意を

- ・山道には人間に危害を及ぼす生き物がいる。ハチやマムシ、マダニに注意を。

問い合わせ先

徳島県 グリーン社会推進課 088-621-2263

勝浦町 企画交流課 0885-42-2552

阿南市 商工政策課 0884-22-3290

四国のみち
徳島県 HP



コース内には案内板、道順を示す標識、文化財などの解説板、各所に休憩所を設置している。設備の破損や道の異常箇所に気付いた場合は上記の四国のみち担当課にご連絡を。

制作 2023.3

コース周辺の見どころ

MAP A 生名



勝浦町は阿波みかん発祥の地。生名はその中心地で、沿線には山の上までみかん畑が続く。また、地域を流れる勝浦川はアユが有名で、シーズン中は多くの釣りファンでにぎわう。

MAP B 水呑大師



弘法大師が杖でつくると水が湧き出したという伝説が残る場所。生名から鶴林寺へ上る参道の途中にあり、現在でも水が湧き出る。お遍路さんや山仕事の人たちが休憩して喉をうるおしている。

踏破認定写真 撮影ポイント



踏破制度



鶴林寺と八幡神社の間にある標識 No.1019

MAP C 鶴林寺三重塔



江戸時代末期に再建されたもので、各層はその様式が異なり、和様、唐様の手法が見られる。塔は江戸末期における代表的建築物であり、藩政時代に建て残っている三重塔である。

MAP D 八幡神社・中筋農村舞台

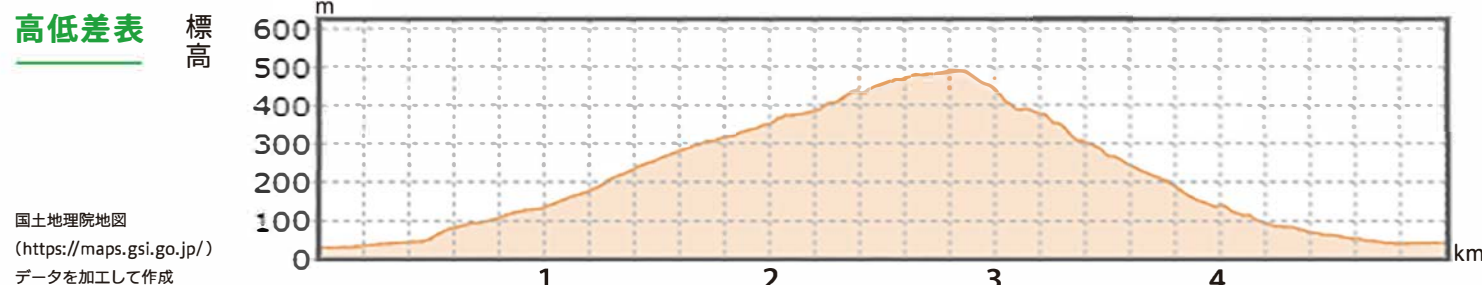


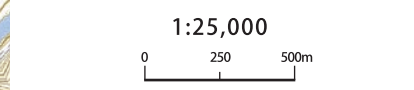
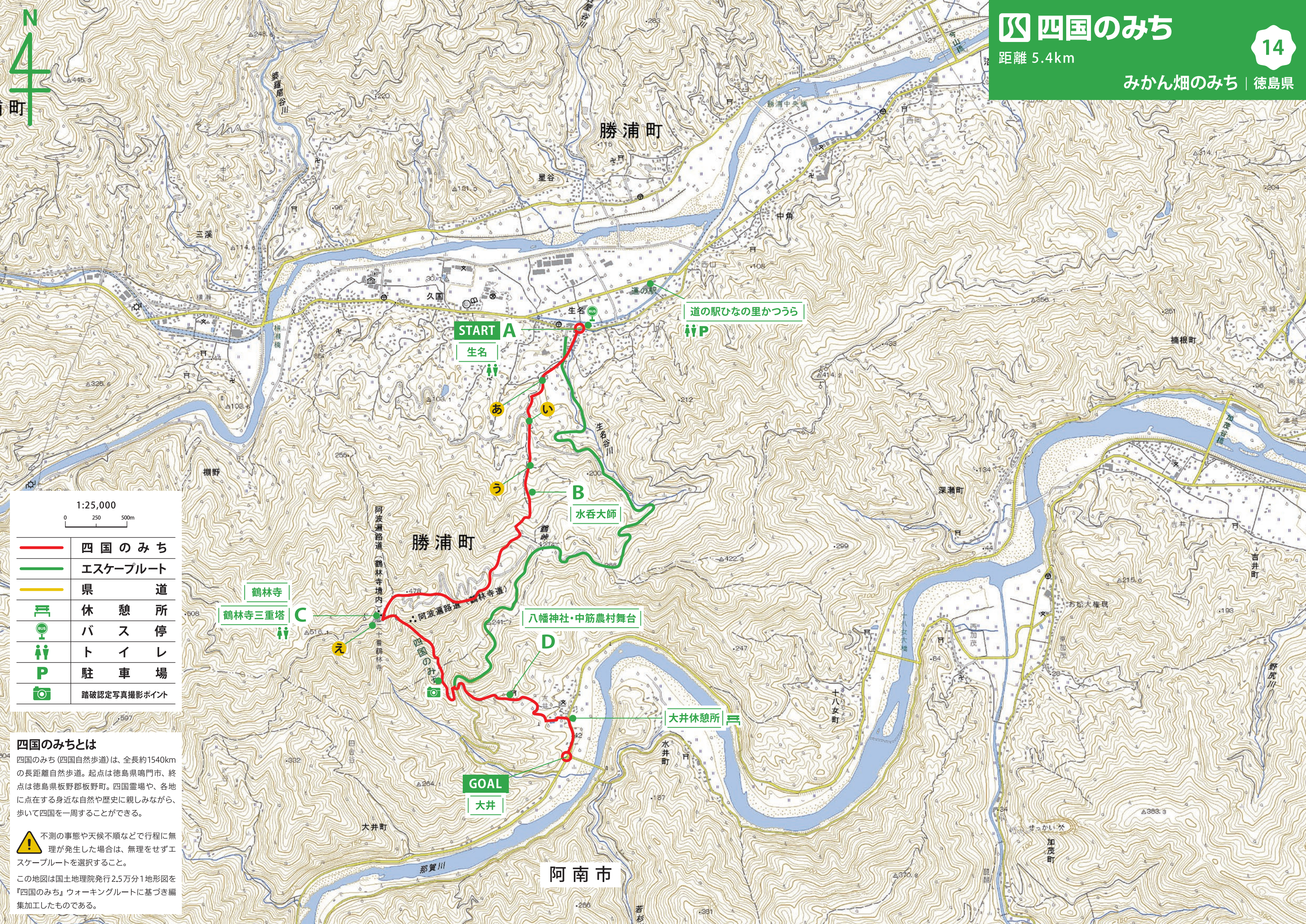
最終地点の『大井』へと続く細い下り坂を歩いていくと、『八幡神社』にたどりつく。御神木のスギがそびえ立つ境内には、かつて祭りのたびに芝居が演じられていた中筋農村舞台がひっそりとたたずむ。

里程表



高低差表





	四国のみち
	エスケープルート
	県道
	休憩所
	バス停
	トイレ
	駐車場
	踏破認定写真撮影ポイント

四国のみちとは
四国のみち(四国自然歩道)は、全長約1540kmの長距離自然歩道。起点は徳島県鳴門市、終点は徳島県板野郡板野町。四国霊場や、各地に点在する身近な自然や歴史に親しみながら、歩いて四国を一周することができる。

不測の事態や天候不順などで行程に無理が発生した場合は、無理をせずエスケープルートを選択すること。

この地図は国土地理院発行2.5万分1地形図を『四国のみち』ウォーキングルートに基づき編集加工したものである。